事例No.	2805
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	豊岡演劇祭実行委員会

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・人材確保・育成

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

豊岡演劇祭ではじめる持続可能なまちづくり

出典

令和５年度ふるさとづくり大賞事例集

ふるさとづくり大賞　団体表彰



©トモカネアヤカ

豊岡演劇祭ではじめる持続可能なまちづくり

豊岡演劇祭実行委員会（とよおかえんげきさいじっこういいんかい）

DATA

事　例　名：豊岡演劇祭
所　在　地：兵庫県豊岡市中央町2番4号
　　（豊岡演劇祭実行委員会事務局）
連　絡　先：TEL 0796-21-9016
　　FAX 0796-22-3872
　　E-mail toyooka.theaterfestival@gmail.com
ホームページ：https://toyooka-theaterfestival.jp/

取り組みの概要

豊岡市の目指すまちの将来像である「小さな世界都市-Local&Global City-」の実現にむけて、“深さをもった演劇のまちづくり”を推進するための1つとして演劇祭を開催している。国内外のアーティストの創造発信や交流の場をつくり、市民などが多様な文化・価値観に触れる機会を創出することで、地域振興、国際交流などへの貢献を目指している。5年でアジア最大、10年で世界有数の演劇祭を目指して取り組みを進めている。

評価された点

●今や兵庫県の中だけでなく国内でも「演劇のまち」として確立されている豊岡市。近隣の温泉街などの観光地への波及効果も期待できる。

●欧米豪からのインバウンド客が多い城崎温泉を抱え、「小さな世界都市」を目指す豊岡市のひとつの象徴であり、未来に向けたリーディングプロジェクトにもなっている。行政・民間・市民・大学が連携して取り組み、すでにアジア圏で最大規模の演劇祭に成長している点を評価。

●2022年の来場者数が18,250人と多く、観光消費額、経済波及効果も年々発展している。地域振興だけでなく国際交流、芸術振興にもつながる取り組みである。地域の観光の目玉として、今後の発展性も期待。

●ゼロからここまで持ってこられたこと自体が素晴らしい。なぜ、ここまで持ってくることができたのかといった「秘訣」を深掘りし、横展開の可能性などを探る良い事例である。

取り組みのプロセス

取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題
その取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ

・豊岡市の目指すまちの将来像である「小さな世界都市-Local&Global City-」の実現にむけた1つのエンジンである“深さをもった演劇のまちづくり”を、国際演劇祭を開催することで推進するため。

2019年

第0回豊岡演劇祭の開催

・プレ大会として、2会場で4演目9公演を実施。
・1,427人（延べ）を動員。

2020年

豊岡演劇祭2020の開催

・第1回となる豊岡演劇祭。
・感染症対策を徹底したうえで、客席数を50%以下に制限して開催。
・32団体が参加し、6,547人（延べ）を動員。
・地域の交通課題解決に向けた実証実験も実施。



提供：豊岡演劇祭実行委員会

2021年

豊岡演劇祭2021

・9月の開催に向けて準備を進めてきたが、兵庫県に緊急事態宣言が発令されたことを受けて中止。

2022年

豊岡演劇祭2022の開催

・初めて客席数に制限を設けずに開催。
・芸術文化専門職大学の学生131人が実習として演劇祭の運営に参画。
・77団体が参加し、96プログラムを実施。
・18,250人（延べ）を動員。



提供：豊岡演劇祭実行委員会

2023年

豊岡演劇祭2023の開催

・90団体が参加し、111プログラムを実施。
・芸術文化観光専門職大学の学生174名が実習として参画。
・初めてサポートスタッフ（ボランティア）を募集し、市内外から21名が参加。
・過去最高となる23,647人（延べ）の動員を記録。



©トモカネアヤカ

今後の展望

・コロナ禍による制限がなくなった今後は、国際化に向け、海外の劇団の参加やインバウンドの獲得も目指す。
・「まちづくりのための演劇祭」として、地域課題解決のための取り組みを今後も継続して実施する。

受賞者のコメント

この度の受賞、大変光栄に存じます。2019年に取り組みを開始した豊岡演劇祭は、年々規模を拡大し、2023年は90団体参加のもと111プログラムを実施、延べ23,647人にご来場いただきました。また、芸術文化観光専門職大学の学生174名が実習として運営等に参画されたほか、市民の皆さんもサポートスタッフとして関わっていただくなど、多くの方々に支えられ開催しています。今後も多様で開かれた表現の場を創出するとともに、持続可能なまちづくりへの貢献を目指し、着実に歩を進めてまいります。